

➤ ラバーポール等の設置

課題	・車両の交通量が多く歩行者と車両が錯綜する。 ・車両の通行速度が高い。
対策内容	外側線にラバーポール等を設置し、歩行者と車両を分離する。
効果	道路形状をドライバーに認識させ、または車道幅員を狭く見せることにより、速度の抑制が図られる。また、自動車の通行部分と歩行者等の通行部分を分離することにより、歩行者等の通行の安全性の向上が図られる。

交通量の多い道路の路側帯をカラー舗装化・ラバーポールの設置（京都府）

○対策前



- ・自動車の交通量が多く、歩車道の分離も無いため危険

○対策後



- ・路側帯のカラー舗装化
- ・車道分離標（ラバーポール）を設置